

内閣府 政策統括官（科学技術政策・イノベーション推進） 質研配分担当 宛

FAX: 03-3681-8053 (ご意見提出様式)

別紙B

内閣府 政策統括官（科学技術政策・イノベーション推進） 質研配分担当 宛

FAX: 03-3681-8053 (ご意見提出様式)

1. 氏名 (ふりがな)

2. 遷移先 住所

電話番号

FAX

E-mail

3. 属性

研究者 会社員・団体の職員・公務員・その他 (任職)

4. ご意見

ご意見に係る施策

文部科学省 10番 免疫・アレルギー科学総合研究事業

ようやく先端医療に光明が差してきた今、研究費を削減せず、返って増額すべき時代です。政策の再考を嘆願します。

5. その他

内閣府 政策統括官（科学技術政策・イノベーション推進）資源配分担当 あり
FAX: 03-3581-8050 (ご意見提出用紙)

別紙 3
内閣府 政策統括官（科学技術政策・イノベーション推進）資源配分担当 あり
FAX: 03-3581-8050 (ご意見提出用紙)

1. 氏名 (ふりがな):

2. 連絡先 住所

電話番号

FAX

E-mail

3. 属性

研究者 会社員・団体職員・公務員・その他 主婦

4. ご意見

ご意見に係る施策

文部科学省 10番 免疫・アレルギー科学総合研究事業

私も一手中アレルギー性鼻炎ばかり、子供二人古(成人)
幼少時から小児ぜんそく、アトピーも有り、生活全般
多難でした。

現在、30才過ぎに息子二人共、江事のストレス、慢性的
疲労、etcでアトピーも断念せし。

診療時間を取れるものの、か現況で可。

大人から小児まで多種多様なアレルギーも
生活に気をつけかかっています。

是非、研究して、皆が幸せに毎日を送れるよう

一人でも多くの方を救ってほしいと強く思います。

免疫センターの研究に希望を持ち、良い答を

待ちます。

5. その他

別紙5

内閣府 政策統括官(科学技術政策・イノベーション担当) 資源配分担当 まで
FAX: 03-3581-8653 (ご意見提出用紙)

別紙5

内閣府 政策統括官(科学技術政策・イノベーション担当) 資源配分担当 まで
FAX: 03-3581-8653 (ご意見提出用紙)

1. 氏名 (ふりがな)

2. 連絡先 住所

電話番号

FAX

E-mail

3. 属性

研究者・会社員・団体職員・公務員・その他

4. ご意見

ご意見に関する施策

文部科学省 15番 免疫・アレルギー科学総合研究事業

患者、病院と連携して研究を大に進めて欲
テレビ新聞等によると原発性免疫不全症
など、子どもが研究を進めて欲しい。
世界の中の日本期待します。

5. その理由

別紙5

内閣府 政策統括官（科学技術政策・イノベーション担当）資源配分担当 あて

FAX: 03-3581-8653 (ご意見提出様式)

別紙5

内閣府 政策統括官（科学技術政策・イノベーション担当）資源配分担当 あて

FAX: 03-3581-8653 (ご意見提出様式)

1. 氏名 (ふりがな)

2. 連絡先 住所

電話番号

FAX

E-mail

3. 属性 研究者・会社員・団体職員・公務員・その他

4. ご意見 ご意見に係る施策

文部科学省 16番 免疫アレルギー-科学総合研究事業
『がん』と題して下さい

5. その理由

新しいがん治療法について新聞にて理研の免疫センサー
が研究していると記事を読みました
私の友人が先日乳がんにかかり手術を受けました
一日も早く最善のがん治療法が開発される事を強く
希望します。
国としても応援対策が必要だと思います

別紙 6

内閣府 政策統括官 (科学技術政策・イノベーション担当) 資源配分担当 へて
FAX: 03-3531-8653 (ご意見提出様式)

別紙 5

内閣府 政策統括官 (科学技術政策・イノベーション担当) 資源配分担当 へて
FAX: 03-3531-8653 (ご意見提出様式)

1. 氏名 (ふりがな)

2. 連絡先 住所

電話番号

FAX

E-mail

3. 属性 研究者・会社員・団体職員・公務員・その他

4. ご意見 ご意見に関する施設

文部科学省 15 番 免疫・アレルギー科学総合研究事業

NHK が 理研の事をしていくのを見かね、ここ大切だと思われ、
免疫力を高める為の研究は是非 続けられたいです。

5. その理由

この分野の予算を削るなんて 恐ろしいです。
この分野は、お金の 10% 必要率だと思われ、
他のものと見比べたら 10% 必要率だと思われ。



別紙D

内閣府 政策統括官 (科学技術政策・イノベーション推進) 資源配分担当 まで
FAX: 03-3581-8853 (ご意見提出様式)

別紙E

内閣府 政策統括官 (科学技術政策・イノベーション推進) 資源配分担当 まで
FAX: 03-3581-8853 (ご意見提出様式)

1. 氏名 (ふり)

2. 連絡先 住所

電話番号

FAX

E-mail

3. 属性

研究者・会社員・団体職員・公務員・その他

4. ご意見

ご意見に関する施設

文部科学省 15番 免疫・アレルギー科学総合研究センター

むつかしい事は山崎先生から、か2に詳しいの研究は
とても大切。

(事)
上の事

5. その他理由

私の周りの人間も、高齢になり生き残りの研究が
やはり大切。医学は進んでいるので、
急激に^は免疫力を高め、病気を防ぐ為の研究は
とても大切。

別紙5

内閣府 政策統括官 (科学技術政策・イノベーション推進) 資源配分担当 まで
FAX: 03-3581-8653 (ご意見提出様式)

別紙6

内閣府 政策統括官 (科学技術政策・イノベーション推進) 資源配分担当 まで
FAX: 03-3581-8653 (ご意見提出様式)

- 1. 氏名 (ふりがな)
- 2. 連絡先 住所
電話番号
- 3. FAX
- 4. E-mail

5. 属性

研究者 会社員・団体職員・公務員・その他

6. ご意見

ご意見に関連する施策

文部科学省 I 5 課 産学・アレルゲノム等融合研究推進

アレルギーと免疫の研究は是非 続けて下さい。

IS
(書)

8. その他

自分自身も長年アレルギーで悩んでおり、身近な方も同じ悩みの
 人達で、いざいざが深刻です。正に現代病です。
 この事は、将来もと大玉な課題になると思っております。
 是非、続けたいです。必要を研究です。

別紙6

内閣府 政策統括官(科学技術政策・イノベーション推進) 資源配分担当 へ
FAX: 03-3531-8653 (ご意見提出用紙)

別紙5

内閣府 政策統括官(科学技術政策・イノベーション推進) 資源配分担当 へ
FAX: 03-3531-0454 (ご意見提出用紙)

1. 氏名 (ふりがな)

2. 連絡先 住所

電話番号

FAX

E-mail

3. 属性

研究者(会社員・団体職員・公務員・その他)

4. ご意見

ご意見に係る施設

文部科学省 16階 免疫・アレルギー科学総合研究事業

がん免疫力の研究は大切で
更に研究してほしいです。

10番

5. その他

私の父も胃がんになってしまいました。私の母も大腸がん
苦しんでいます。何かりたい研究です。
この大事な研究は是非続けられぬように願っています。

内閣府 政策統括官（科学技術政策・イノベーション担当）資源配分担当 あて

FAX：03-3581-8653

（ご意見提出様式）

科学技術関係施策の優先度判定等の実施に関する意見募集 （募集期間：平成21年11月17日（火）～11月24日（火）12時まで（郵送の場合は同日必着））	
1. 氏名（ふりがな）	
2. 連絡先	
3. 属性	研究者 <u>会社員</u> 団体職員・公務員・その他
4. ご意見 <small>（各府省の科学技術関係施策について優先度判定等を実施するにあたり、考慮すべきと考えられること）</small>	ご意見に関する施策 <u>文科省10番 脳科学研究戦略推進プログラム</u> <u>厚労省18番 長寿障害総合研究事業</u> 今後、高齢化社会を迎えるにあたり、 脳機能や障害の回復、健康寿命の延長は、 重要な課題 と思う。
5. その理由	私の母もそうだが、認知症の高齢者、片足の 高齢者もふえている。団塊世代の高齢化を 迎えるにあたり、上記の研究は、最重要課題として すすめていくべきだ。

別紙5

内閣府 政策統括官(科学技術政策・イノベーション担当)資源配分 ご担当 御中

FAX:03-3581-8653

(ご意見提出様式)

科学技術関係施策の優先度判定等の実施に関する意見募集 (募集期間:平成21年11月17日(火)~11月24日(火)12時まで(郵送の場合は同日必着))		
1. 氏名(ふりがな)		
2. 連絡先		
3. 属性	研究者	
4. ご意見 各府省の科学技術関係 施策について優先度 判定等を実施するに あたり、考慮すべき と考えられること	ご意見に関する施策	文部科学省 事業番号3-18-(3)番 (独)理化学研究所バイオリソース事業
	医学研究を行っている立場から、理化学研究所バイオリソース事業の現状のままの継続をお願い申し上げます。医学研究では、患者への実施の前に動物による検討が必要であり、理化学研究所バイオリソースセンターは、生活習慣病、小児発達障害、精神疾患、がんといった我が国の重要な疾患の治療法開発に向けた動物研究をシステムティックに行なえる我が国随一の施設です。したがって、その運営と医学生物学研究者への研究事業は医療の立場から必須と考えます。	
5. その理由	遺伝子操作によりヒトの疾患のモデル動物が次々の開発されています。これらの全身の異常所見をシステムティックに解析((血圧から眼底、脳画像、精神所見まで)することは、大学では難しく国家レベルの科学技術施設(理化学研究所)だけが行えます。このような施設は米国にはなく、世界で欧州に一カ所あるだけです。	

内閣府 政策統括官（科学技術政策・イノベーション担当）資源配分担当 御中

FAX：03-3581-8653

（ご意見提出様式）

科学技術関係施策の優先度判定等の実施に関する意見募集 （募集期間：平成21年11月17日（火）～11月24日（火）12時まで（郵送の場合は同日必着））			
1. 氏名（ふりがな）			
2. 連絡先			
3. 属性	<input checked="" type="radio"/> 研究者 <input type="radio"/> 会社員・団体職員・公務員・その他		
4. ご意見 <small>各府省の科学技術関係施策について優先度判定等を実施するにあたり、考慮すべきと考えられること</small>	<table border="1"> <tr> <td>ご意見に関する施策</td> <td>総務省 16番 ユビキタス・プラットフォーム技術の研究開発</td> </tr> </table> <p>本施策に関する、電子情報通信学会ユビキタス・センサネットワーク研究会から意見を出させていただきます。</p> <p>本施策は、産学で協同で、国民生活に関わる課題を情報通信技術で解決するものであり、国の施策として加速推進するべきであると考えます。</p>	ご意見に関する施策	総務省 16番 ユビキタス・プラットフォーム技術の研究開発
ご意見に関する施策	総務省 16番 ユビキタス・プラットフォーム技術の研究開発		
5. その理由	<p>本施策が対象とするのは、高齢者の健康増進、児童の安全確保、地域経済の活性化など、国民生活に密着した内容です。しかも、既存の活動の延長ではなく、多くの専門家が一致団結して、新たに開発する情報通信技術によって可能となるものです。同様の技術は、欧米のみならず、近隣アジア諸国でも活発に推進が行われています。国際競争力という観点においても、一大学や一企業で対応できるものではなく、国の施策として、長期的視点で発展・展開させてゆくべきであると考えます。</p>		

別紙5

内閣府 政策統括官（科学技術政策・イノベーション担当）資源配分担当 あて
FAX：03-3581-8653

（ご意見提出様式）

科学技術関係施策の優先度判定等の実施に関する意見募集 (募集期間：平成21年11月17日(火)～11月24日(火)12時まで(郵送の場合は同日必着))	
1. 氏名 (ふりがな)	
2. 連絡先	
3. 属性	研究者・会社員・団体職員・公務員 (その他)
4. ご意見 <small>(各府省の科学技術関係施策について優先度判定等を実施するにあたり、考慮すべきと考えられること)</small>	ご意見に関する施策
	<input type="checkbox"/> 〇〇省△△番 <input type="checkbox"/> □□の研究開発 <input checked="" type="checkbox"/> ××省◎◎番 <input checked="" type="checkbox"/> ●●の研究開発 *部科5名 15種 負担あり - 科学総合研究所等 本報に10世にわたり、その7772を 是非 両方121811
5. その理由	新国で 新 種下 負担あり - 科学総合研究所 か、7772を 両方121811に 推進 には 必要 知って

別紙5

内閣府 政策統括官（科学技術政策・イノベーション担当）資源配分担当 あて

FAX：03-3581-8653

（ご意見提出様式）

科学技術関係施策の優先度判定等の実施に関する意見募集 (募集期間：平成21年11月17日(火)～11月24(火)12時まで(郵送の場合は同日必着))	
1. 氏名 (ふりがな)	
2. 連絡先	
3. 属性	研究者・会社員・団体職員・公務員・その他
4. ご意見 <small>各府省の科学技術関係施策について優先度判定等を実施するにあたり、考慮すべきと考えられること</small>	ご意見に関係する施策 文部科学省6番 科学研究費補助金 継続施策
	科学研究費補助金の削減は以下の理由により、間違いなく日本の科学技術の衰退に繋がります。
5. その理由	<p>学術研究は、多くの研究者の自由な発想に基づいて行われることによって、幾多のブレイクスルーを生み出しながら発展してきたことは、200年あまりの近代科学技術の発展の歴史が証明しています。科学研究費補助金は大学や研究所などの研究機関の所属するあらゆる研究者を対象とする競争的資金です。したがって、大学を中心とする研究活動を高めるための中核的資金であり、我が国の学術振興のために極めて重要な役割を果たしています。大学に於ける教育研究活動を支える基盤的経費は独立行政法人化以降、年々減少しており、競争的資金の中核であり科学研究費補助金が万一削減されるようなことがあれば、大学などに於ける学術研究が成り立たないという現状です。</p> <p>このような理由により、科学研究費補助金は削減出なくむしろ増額されなければならないことを是非ご理解下さるようお願い致します。</p>

別紙5

内閣府 政策統括官（科学技術政策・イノベーション担当）資源配分担当 あて

FAX：03-3581-8653

（ご意見提出様式）

科学技術関係施策の優先度判定等の実施に関する意見募集 (募集期間：平成21年11月17日(火)～11月24(火)12時まで(郵送の場合は同日必着))	
1. 氏名(ふりがな)	
2. 連絡先	
3. 属性	研究者・会社員・団体職員・公務員・その他
4. ご意見 各府省の科学技術関係施策について優先度判定等を実施するにあたり、考慮すべきと考えられること	ご意見に関する施策
	文部科学省10番 脳科学研究戦略推進プログラム 継続施策
	科学研究費補助金の削減は以下の理由により、社会に役立つ日本の脳科学研究の衰退に繋がります。
5. その理由	脳科学研究戦略推進プログラムは、ブレインマシンインターフェースの開発、独創性の高いモデル動物の開発、社会的行動の基盤となる脳機能の計測・支援の課題に対して、研究支援を行っている。いずれも社会に役立つ日本の脳科学研究のための必要性の最も高い課題が選定されている。それぞれの課題、プログラムオフィサー(PO)、プログラムディレクター(PD)と文部科学省によって、課題の目的にあった研究が推進されるよう細かくチェックされており、間違いなく社会に役立つ脳科学研究の成果があがるようなシステムになっており、そこには無駄の排除が行き届いている。 このような理由により、脳科学研究戦略推進プログラムは削減出なくむしろ増額されなければならないことを是非ご理解下さるようお願い致します。

内閣府 政策統括官（科学技術政策・イノベーション担当）資源配分担当 あて

FAX : 03-3581-8653

(ご意見提出様式)

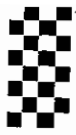
科学技術関係施策の優先度判定等の実施に関する意見募集 (募集期間：平成21年11月17日(火)～11月24日(火)12時まで(郵送の場合は同日必着))	
1. 氏名 (ふりがな)	
2. 連絡先	
3. 属性	研究者・会社員・団体職員・公務員・ <u>その他</u>
4. ご意見 <small>(各府省の科学技術関係施策について優先度判定等を実施するにあたり、考慮すべきと考えられること)</small>	ご意見に関係する施策 <input type="radio"/> 〇〇省△△番 <input type="checkbox"/> □□の研究開発 <u>文科省 26番 スーパーコンピュータ</u> <input checked="" type="checkbox"/> ××省◎◎番 <input checked="" type="checkbox"/> ●●の研究開発
	世界一を目指すのではないのであれば、大幅に規模を縮小するか廃止した方がよい。その場合計算科学の分野が他国に比べて遅れを来すと懸念をとりかねばならない。
5. その理由	スーパーコンピュータのみの特許を返しても独創的で世界トップでなければ特許取得が難しい。第2番目のスーパーコンピュータはこの点で特許も取れない、技術的優位性も十分に高くはないと開発の意味がない。2つ目の理由として、計算科学の分野で世界をリードしているのは、もちろん一番大切な人材がアジアにあるが、その次にそのアジアを実現する計算機資源が必要である。計算機資源の問題はそのアジアに大きな差が出ないような応用研究において大きな差となるであろう。よってスーパーコンピュータを開発すれば世界一のものとし、特許を返さず、開発にかかった資源を回収できる。

世界二位のスーパーコンピュータはその開発資金を充分回収できないであろうことから、世界一位を狙いたい場合は、アワードシステムなど他の方法への転換をはかるべきである。

内閣府政策統括官（科学技術政策・イノベーション担当）資源配分担当 殿

FAX: 03-3581-8653

科学技術関係施策の優先度判定等の実施に関する意見	
1. 氏名	
2. 連絡先	
3. 属性	研究者
4. 意見	意見に関する施策 経済産業省 05-22 新エネルギー技術研究開発 海洋エネルギーの実用化の研究開発の推進
5. その理由	<p>鳩山首相は国連環境サミットでの演説で、地球環境保全のため我が国は2020年までに温室効果ガスを25%削減するとの決意を表明した。その実現には国を挙げての省エネルギー、省資源を徹底も必要であるが、それのみでは目標実現は不可能であり、枯渇することが無く環境負荷が小さい再生可能エネルギーの最大限の利用が不可欠となる。再生可能エネルギーのうち太陽光や風力については、これまではEU主要国よりは劣っているが、今後の施策によって発電量の増加が期待できる。</p> <p>しかしEU主要国、USAならびに韓国が既に実用化しつつあるのに、我が国が未利用の再生可能エネルギーがある。それは海の波、潮汐、流れ、温度差、バイオマスなどの海洋エネルギーの利用である。例として韓国は全エネルギー使用量の10%を、USAは全電力量の10%を海洋エネルギーでまかなう計画をもっている。これに対して自他とも認める海洋国の我が国では、海洋エネルギーは海上風力を除いて、新エネルギーの対象としてすら認めていなかった。波エネルギーだけに限っても我が国の200海里水域の波力エネルギー量は、約180GW(18,000万kW)と推定され、我が国の全電力量を上回る。波力発電の研究は20世紀末までは我が国は世界のトップレベルにあったが、政府の開発計画が無いまま遅れをとってきた。一例として国産の波力発電方式の一つである振り子式波力発電システムは、入射波のエネルギーの約50%を電力に変換できる高性能が世界的に評価され、2010年から始まる韓国の開発プロジェクトに採用されている。</p> <p>海洋エネルギーの電力変換は過疎地の多い海岸・島嶼域に雇用をもたらし、取得電力は水産業や観光産業のエネルギー源として活用されるので、地域振興の原動力となりうる。</p> <p>このようなことから、波力を含む海洋エネルギーの研究開発は、風力の一部としてでは無くして、独立した事項の研究費を計上すべきである。</p> <p>関係各省との連携で、実現されるよう提言する。</p>



15 免疫・アレルギー科学 11/10/2019

別紙B
内閣府 政策総務官（科学技術政策・イノベーション担当） 異議応答担当 あり
FAX：03-3581-8650（二重見出し形式）

15

別紙B
内閣府 総務官
FAX：03
1. 氏名（ふ）
2. 連絡先（
電話番号
FAX
E-mail

3. 属性 研究者・会社員・団体職員・公務員 その他
4. ご意見 ご意見と関係する部署

5. その他

松下記念病院で血液疾患の治療に看護師として
活動中。白血病の再発を防止し、そのメカニズム
の解明は重要に思っています。
又、私自身C型肝炎です。免疫は7、8の
地味な研究を望みます。

別紙 6

内閣府 政策統括官 (科学技術政策・イノベーション推進) 資源配分課長 まで

FAX : 03-3581-3883 (ご意見提出用紙)

15

別紙 6

内閣府 政策統括官 (科学技術政策・イノベーション推進) 資源配分課長 まで

FAX : 03-3581-96

- 1. 氏名 (ふりがな):
- 2. 連絡先 住所

電話番号

FAX

E-mail

3. 属性

4. ご意見

5. その他理由

研究者・会社員・団体職員・公務員・その他
ご意見に回答する施設

15 (免状 PULキー科
(統合研究事業

アレルキ ショウカが不足していく
大印正部野 での
予算を上げたいので 読け
やっ下さい。お預けし可

別紙5

内閣府 政策統括官 (科学技術政策・イノベーション担当) 資源配分担当 あて
FAX : 03-3581-8653

(ご意見提出様式)

科学技術関係施策の優先度判定等の実施に関する意見募集 <small>(募集期間:平成27年11月17日(火)~11月24日(火)12時まで(郵送の場合は同日必着))</small>	
1. 氏名 (ふりがな)	
2. 連絡先	
3. 属性	(研究者)・会社員・団体職員・公務員・その他
4. ご意見 <small>(各府省の科学技術関係施策について優先度判定等を実施するにあたり、考慮すべきと考えられること)</small>	ご意見に関する施策 <input type="checkbox"/> 〇〇省△△番 <input type="checkbox"/> □□の研究開発 文部科学省14番 <input checked="" type="checkbox"/> ××省◎◎番 <input checked="" type="checkbox"/> ●●の研究開発
	高齢化社会において神奈川の基礎応用研究は国民の健康医療費の削減・国際的人類的貢献に資する
5. その理由	科学政策一般について、特に国の2025年目標にも対応し、科学的知識のたゆみなく伝承されることにより、科学問題ではありせん。中国、インド、ロシア、アフリカ諸国は

多大な資金を投じて国際競争力をつけてきた。今時代の流れを逆行するのはありません。天下りたての無駄に税金を使っていることに完全に怒を入れています。今年実現できなかった一歩に国民は不満だ。と思いき、二歩は踏むべきではない。このままいくと国民の研究は減る。予算も削減し、研究も頭脳流出が起る。このままの科学研究は、必死に防衛。天下り削減は、一歩に構いません。科学研究費削減は、若手研究者の雇用を減らし、科学者から日本からいなくなる。しるべき。たてに若手研究者は薄給でいる。科学研究費削減は、最終に踏むべき分野ではない。

内閣府 政策統括官（科学技術政策・イノベーション担当）資源配分担当 殿
 FAX：03-3581-8653

（意見提出様式）

科学技術関係施策の優先度判定等の実施に関する意見募集 （募集期間：平成21年11月17日（火）～11月24日（火）12時まで（郵送の場合は同日必着））	
1. 氏名（ふりがな）	
2. 連絡先	
3. 属性	秋葉原先端技術実証フィールド推進協議会 事務局長
4. ご意見 各府省の科学技術関係 施策について優先度 判定等を実施するに あたり、考慮すべき と考えられること	ご意見に関 総務省16番 ユビキタス・プラットフォーム技術の研究開 係する施策 発
	ユーザのニーズをリアルタイムに抽出し、ユーザ要求に応じてサービス を提供可能とするユビキタスネットワーク技術については、欧州、韓国等で 急速な進展を見せており、わが国においてもユビキタスネットワーク技術を 確立し、普及せしめるベストプラクティスモデルの確立が必要と考える。ユ ビキタス・プラットフォーム技術の研究開発ならびに、ユーザ参加型の実証 実験については、汎用性が担保され、かつ効果的な研究開発ならびに実 証が行われるよう、国策として官民あげた取組みが推進されることを要望 する。
5. その理由	クラウドコンピューティング等ICTサービスのネットワークへの依存が進 むにつれて、ネットワークに接続する端末数の増大、ネットワークサービス を利用するユーザ数の増大が予想される。児童および、高齢者・障害者の 見守りなどを代表として、ユーザの状況・環境をセンシングして、ネットワ ーク側で最適なサービスを構成して提供するアーキテクチャーは今後確実に ユーザニーズが拡大するものと思われる。国民生活に密着した課題を解 決し、また日本の国際競争力向上を目的に、先端技術を産業創造に活用 するため、官民をあげて多様な施策が展開されることが望まれる。また、共 通的なユビキタス・プラットフォームの開発に当たり、国が主導して取り組 む必要がある。 また、施策概要に書かれている「実証実験」の実施は、単なる研究・開発 に留まらず、それを生活に展開・根付かせていくために、とても重要なこと である。しかし企業・大学等組織が実証実験を実施することは難しく、国 策としてのバックアップが必要と考える。